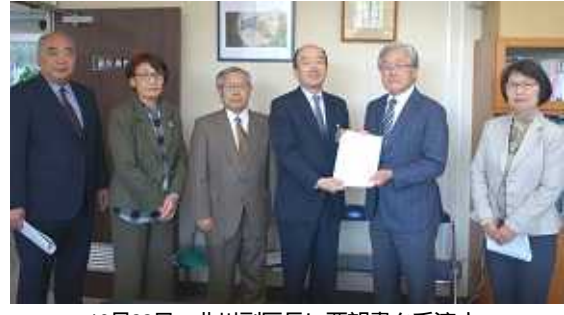


2019年度予算要望432項目を提出 くらし応援の予算編成を 共産党区議団

**介護、医療、子育て、まちづくり、産業振興……
だれもが大切にされる荒川区政をめざします**

日本共産党区議団は、10月22日に来年度予算編成に向けて、議会内外の活動、区民相談、区



10月22日、北川副区長に要望書を手渡す

内各種団体等との懇談、調査研究などに基づいてまとめた432項目に及びる予算要望書を西川区長宛に提出しました。
安倍政権による消費税増税、社会保障削減などくらしと地域経済を直撃、格差と貧困が広がっている。荒川区政のあり方も問われてきました。基礎自治体「荒川区」は、「住民のくらしと命を守る」ことが第一の責務です。日本共産党荒川区議団は、区民のくらし最優先の予算編成を求め、だれもが大切にされる荒川区をめざします。みなさんのご意見をお寄せください。（予算要望は、共産党区議団、横山区議のHPでくらしになれます）



**旭川育児院を視察して…教育の保障を
子どもの貧困をなくす政治の責任を痛感**

日本共産党荒川区議

横山 幸次

荒川区は、独自の児童相談所設置に向け、施設建設を進めていますが、専門職員や財源確保など解決すべき課題が山積です。大事なことは、虐待など様々な原因で困難を抱えた子どもたちに寄り添い、支援していくことです。そんな折、北海道の児童養護施設旭川育児院（下写真）を視察しました。様々な理由で親と一緒に暮らせない子どもたちの貧困の連鎖を断ち切るためには、やはり生活の場の確保と

旭川育児院では、地域の篤志家の寄付で高卒後大学等に進学する子どもに返済不要の奨学金支給していますが、自治体からの支援は皆無。日本の政治の現実には立ち遅れています。トランプ大統領に約束した武器購入でなく、子どもたちの教育に回すべきではないでしょうか。



主な予算要望項目をご紹介します

**くらしの直接応援も
5億円程度で実現!**

荒川区の基本姿勢として憲法をくらしと区政のすみずみに生かした予算編成をおこなうこと。
区として、暮らしと経済を壊す来年10月の消費税10%増税と75歳以上高齢者の医療費値上げなど社会保障削減に反対すること。

震災・災害対策の強化を
感震ブレイカーと家具転倒防止の補助制度の拡充。
木造密集地域改善のため従前居住者用住宅など整備して促進。
住宅の簡易耐震工事にも助成を行うこと。
防災ラジオの導入を前倒し実施すること。

区内産業・地域経済活性化を
小規模事業者設備投資補助制度をより使いやすくするため、いっそうの改善。
区内業者を使った住宅リフォーム、店舗リニューアルに助成制度を創設。
スタートアップの支援や創業支援融資の拡充など環境整備を行い、「創業・起業しやすいまち・荒川」の魅力発信を。
暮らせる賃金の保障に向けて「公契約条例」制定。

この中で経済給付・現物給付の「ふるわり」拡大
子ども医療無料
大子ども医療無料
18歳 教材教具公費負担拡大
住宅・住居・住居
店舗リフォーム助成の5事業（下線部）で約5億円の予算です。荒
川区は、タブレットPCに年約6億円の黒字で全額を基金（貯金）に積んでいます（裏面参照）。問題は、何を優先するかという、政治のあり方ではないでしょうか。

財源はあります…

だれもが大切にされる荒川区へ 高齢者

介護保険料を引き下げ。
特養ホームや認知症グループホームなどの増設。
「ふるわり200」を1回100円、週2回に拡充した「ふるわり100」の実施。

子育て世代

小中学校の教材教具・修学旅行など公費負担を拡大。
小中学校給食への公費負担を拡大し無料化をめざす。
就学援助基準を当面生活保護の1.5倍に緩和。
子ども医療費の無料化は、18歳まで拡大。
公設公営保育園の民営化を止め、公私ともに拡充して待機児童を解消。
保育の質を確保するため「荒川区保育ガイドライン」の作成。
学童クラスと「ここにこすくーる」の増設、充実。

命、人権、共生

国民健康保険料引き下げと多子世帯への減額。
高齢者、障害者などエアコン設置助成を来年度も実施。
高齢者、若い世代などへの家賃助成制度を創設。
LGBTの人権擁護に向けた宣言、同性パートナーシップ証明書発行を実施。
「受動喫煙防止条例」の制定。

荒川区政の各種情報・話題は…
横山幸次区議のホームページで
横山ニュースのバックナンバーも
4年分PDFでご覧になれます。
検索で「横山幸次」と入力して下さい。ご意見もお寄せ下さい。

日本共産党荒川区議会議員 **横山 幸次** 区政報告
ニュース
2018年11月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団
区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp
町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504
E-mail: kouji.office@gmail.com

予算と区財政

区の基金積立の大きな理由は公共施設改修など...? 実際の施設更新・改修の財源は起債50%・基金15%

荒川区の各年度末基金残高の推移

| | 財政調整基金 | 義務教育施設整備基金 | 公共施設整備基金 | その他の基金 | 基金合計 |
|--------|-------------|------------|------------|--------|-------------|
| 2015年度 | 155億 557万円 | 44億 4729万円 | 20億 1451万円 | | 279億 6233万円 |
| 2016年度 | 168億 260万円 | 57億 3416万円 | 32億 8695万円 | 省略 | 327億 2903万円 |
| 2017年度 | 174億 5657万円 | 63億 6927万円 | 39億 3013万円 | | 352億 5044万円 |

その他は、特別区債管理、災害対策、産業振興、健康・福祉、スポーツ振興、介護保険給付準備の各基金合計

最近の主な公共施設建設 & 大規模改修などの財源構成 (単位: 百万円)

| | 基金活用 | 起債 | 国補助 | 都補助 | 一般財源 | 総事業費 |
|--------------|-------|--------|-------|------|-------|--------|
| ゆいの森 | 113 | 3,817 | 832 | 0 | 3,375 | 8,137 |
| サンパール(大規模改修) | 0 | 1,943 | 107 | 0 | 526 | 2,576 |
| 尾久八幡中学校 | 952 | 3,204 | 254 | 0 | 287 | 4,697 |
| 汐入東小学校 | 3,127 | 1,506 | 647 | 0 | 511 | 5,791 |
| 峡田ふれあい館 | 0 | 412 | 0 | 96 | 316 | 824 |
| 南千住ふれあい館 | 0 | 349 | 0 | 94 | 243 | 686 |
| 町屋ふれあい館 | 0 | 362 | 0 | 94 | 674 | 1,130 |
| 尾久ふれあい館 | 0 | 584 | 0 | 99 | 350 | 1,032 |
| 石浜ふれあい館 | 0 | 252 | 0 | 94 | 149 | 495 |
| 夕やけこやけふれあい館 | 0 | 453 | 0 | 94 | 442 | 989 |
| 合計 | 4,192 | 22,881 | 1,840 | 571 | 6,873 | 26,357 |
| 構成割合 | 15.9% | 48.9% | 7.0% | 2.2% | 26.0% | 100.0% |

ふれあい館の都補助は児童館事業分



ゆいの森 80億円のうち基金1億円



ふれあい館は基金活用ゼロ

規模工事であるゆいの森、小中学校の更新、ふれあい館建設などは、総

区公共施設の更新・改修にかかる費用は… 区の計画では今後40年間で年平均48億円

荒川区の基金(区の貯金)は、2017年度末で352億円余。財政運営上一定の基金は必要ですが、現状はどうでしょうか?

区は、基金積立の理由として、今後の公共施設更新・改修などの対応としています。荒川区公共施設等総合管理計画では、今後40年間の公共施設の更新・改修に必要となる基金は、約48億円(年平均)と推計されています(下グラフ)。

しかし日常的に公共施設の保守・保全をしっかりと行い、長寿命化していけば、さらに平準化され費用の縮減も可能です。現在の基金額は適正か?

区は、公共施設更新・改修に必要な基金について明確な額を明らかにしていません。

事業額263億円、うち基金が約42億円で平均15%程度です。公共施設は、多くが起債(区の借金)で対応し基金活用は一部です。これは世代間の負担の公平からみても当然です。また財政調整基金は、既に区の標準財政規模(約580億円規模)の1/2割が適正といわれていますが、現状の3割はやはり過剰ではないでしょうか(上表参照)。

計画的な財政運営をおこなえば、毎年の決算剰余金(黒字分)の一部などをくらし応援にまわすことは十分可能です。

図2-15 公共施設・インフラの更新・改修費用(更新周期80年)



(荒川区公共施設等総合管理計画より)

このグラフの折れ線の下が公共施設、上がインフラ。総事業費80億円超の「ゆいの森」のような施設さえ作らなければ十分に対応できます。なお、区の計画は、建物本体寿命を80年としています。

くらし、子育て、介護、雇用…まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター (横山幸次区議事務所)

荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504
メール: kouji.office@gmail.com

定例法律相談

毎月第1月曜・午後6時～8時

横山幸次区議事務所

次回は12月3日(月)です

来年は、1月7日(月)を予定しています

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています...いつでもご相談を

「定例法律相談」は月一回開催。くらし、子育て、医療、介護、雇用、税金など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。

まぢの話題あれこれ(番外編)

40代男性正社員月給が年間60万円マイナス 景気回復というが消費税10%増税で消費不況加速へ

まぢの話題は...ありがたい話ですが、安倍内閣が来年10月に「消費税10%増税」することに對し様々な声が聞こえてきます。「社会保障のためだから」という方もすくなくありません。そんな方でも「家計が大変になる」などくらしの不安が語られます。しかし安倍首相は「消費税増税の半分を国民に還元」と発言、「全額社会保障」はどこに行つたのでしょうか。そんな折、NHKニュースで「景気回復なのにデフレマインドなせ続く」「消費のななめとなつてきた40代前半の男性正社員の月々の賃金はこの10年で約5万円(年間60万円)下がり社会保障も先行



男性正社員(大企業 40~44歳)

月々の賃金 約5万円↓

厚生労働省 賃金構造基本統計調査

き不安。ここに対策との必要あり」と報道。消費税増税などできる状況ではありません。(横山幸次)